

# 構想の背景を知って安心、納得して推進

## GIGAスクールを 乗りこなす ①



### 前代未聞のGIGAスクール構想を 乗りこなそう！

藤原清幸

GIGAスクール構想推進委員会  
情報発信部会長

【監修】一般社団法人ICT CONNECT21

GIGAスクール構想推進委員会 情報発信部会

運営中のGIGAスクール構想の情報集積サイト「GIGA HUB WEB」

URL : <https://giga.ictconnect21.jp/> (「GIGAスクール情報」で検索)

#### 前代未聞のGIGAスクール構想

小・中学校の児童・生徒向け1人1台端末、高速ネットワーク環境を一体的に整備するという文部科学省の「GIGAスクール構想」に基づいて、全国の大抵の小・中学校では、今年4月からの運用開始に向け、急ピッチで準備を進めているところだと思えます。

ご存じのとおり、GIGAスクール構想は、従来の学校ICT環境整備と比べて、児童・生徒1人1台端末、1人1アカウントによるクラウド利用など、新しく検討しなければならない要素が盛りだくさんです。

そのうえ、新型コロナウイルス感染症に伴う学びの保障とも相まって、オンライン授業や持ち帰り学習の要素が追加され、さらには、構想を打ち出した2019年には3年間としていた整備期間から1年間での整備に前倒しされました。

このように、たった1年で小・中学校のICT環境がガラッと変わり、新年度からは整備したICT環境を本格的に活用しなければならぬ、という意味で、学校現場にとって前代未聞のGIGAスクール構想と言えるのではないのでしょうか？

#### GIGAスクール構想の現場を支える活動

この前代未聞のGIGAスクール構想を支えるために、一般社団法人ICT CONNECT21は、教育現場への導入・運用のサポートを、企業や学校関係者など現場に近いメンバーで推進する必要があると考え、昨年5月、GIGAスクール構想推進委員会を設立しました。

GIGAスクール構想に関する情報を学校関係者に伝えるとともに（情報発信部会）、学校における調達・導入・活用の支援（学校支援部会）や、GIGAスクール構想で整備された端末・ネットワークの利用促進（利用促進部会）を中心に活動しています。そして、GIGAスクール構想に関する自治体・学校・業界ニュースやQ&A、交流会・セミナー、研修などの活動成果を「GIGA HUB WEB」(図)で日々発信しています。

本活動を通して、学校現場の方々からの声も届いてきました。が、去年の夏頃までは、調達仕様書をどのように書けばよいのか？という質問が多かったです。その後は、端末・ネットワークの導入・運用に必要な作業にはどのようなものがあるのか？ 教職員への研

## 図 GIGA HUB WEB



<https://giga.ictconnect21.jp/>

修をどのようにすればよいのか？に関心が移り、今は整備した端末・ネットワークをどのように実際の授業や校務で活用すればよいのか？に注目が集まっています。

### GIGAスクール構想の目指すところ

GIGAスクール構想で整備された端末・ネットワークを活用するためには、その背景や目指すところを知っておく必要があります。文部科学省から発信されていますので詳細は割愛しますが、たとえば、次のようなことがあげられます（文科省リーフレット「GIGAスクール構想の実現へ」より）。

○1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供

たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育環境を実現する

○これまでの我が国の教育実践と最先端のICTのベストミックスを図ることに、教師・児童生徒の力を最大限に引き出す

実際にGIGAスクール構想で整備された端末やネットワークを利用する先生方の立場に立った場合、どう捉えればよいのかについて、ひとつの考え方を紹介します。

先生が保護者の皆さんに印刷物を配付する際には、昔は、先生がガリ版に書いて印刷していました。それが、手書き原稿をコピー機で印刷するかたちに代わり、手書き原稿がワープロ原稿に代わり、さらにはパソコンやスマホで書いてメールやブログで送信する……というように、時間が経つにつれ便利な方法に移ってきたと思いますし、以前のガリ版の時代に戻りたいという方はいないと思います。

今回のGIGAスクール構想で整備する端末・ネットワークも、先生方が取り組まれている授業や校務をより便利に進めるための「道具」として捉え、使えるところから少しずつ使って慣れていくのはいかがでしょうか？ そういう意味では、今回の前代未聞のGIGAスクール構想によって、便利に授業

や校務を進めるための「道具」が、たった1年で手に入ったと捉えることができます。

### GIGAスクールを乗りこなす

しかし、「道具」と言っても、操作方法、特徴、ルールに納得しないと使いこなすことはできません。クルマも、便利な移動手段ですが、操作方法、各機能の特徴、交通ルールを納得しないと乗りこなすことはできないことには異論はないと思います。

GIGAスクール構想で整備する端末・ネットワークも、その背景にあるねらいや、操作方法、特徴、運用ルールを納得したうえで、授業や校務を進めるための便利な道具として活用することが必要になります。

そこで、今年度の連載タイトルを「——構想の背景を知って安心、納得して推進——GIGAスクールを乗りこなす」と命名し、前述のGIGAスクール構想推進委員会の活動成果を踏まえ、GIGAスクール構想の背景にある考え方も適宜紹介しつつ、GIGAスクール構想で整備された端末・ネットワークを、先生方が便利な道具として活用するための一助となる情報を連載していきます。ぜひ、ご期待ください。